



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)10月15日号 No.1674

目次

■ ルカシェンコ五選とベラルーシの政治経済体制	服部 倫卓 1
■ 統計速報	10
2015年1～9月のロシアのブランド別乗用車販売台数／10	
■ モスクワほっとニュース	11
ソ連時代を懐かしむレトロ調レストラン「グラフィフトルク」／11	
■ エトセラ	12
「大国ロシアの現在と広がる日ロビジネスのチャンス」のご案内／12	
月例報告会「ロシア付加価値税の最新事情」のご案内／12	
モスクワ市ビジネス・プレゼンテーションのご案内／13	
■ トピックス	13
帝石、アスタナに事務所を開設／13	
荒井商事がウラジオで中古車オークションを開始／13	

ルカシェンコ五選とベラルーシの政治経済体制

ロシアNIS経済研究所 調査部長
服部 倫卓

はじめに

2015年10月11日、ベラルーシで大統領選挙の投票が実施された。暫定値によれば、現職のアレクサンドル・ルカシェンコ氏が、83.47%という圧倒的な得票率を収めて、勝利を決めた。野党、欧米、国際機関から選挙が公正でなかった旨の批判は寄せられているものの、実際にルカシェンコが過半数を超える得票で圧勝したことは疑いを容れない。かつて「欧州最後の独裁者」と呼び称されたルカシェンコであるが、昨今の国際環境の変化もあって、ルカシェンコ大統領の正統性は国際社会から総じて承認される方向である。

この間、ベラルーシとルカシェンコ政権を取り巻く状況は、どのように変化したのか。そして、今後のベラルーシの政治経済体制の行方は？ 本稿では、こうした点につき報告してみたい。

大統領選挙結果

まず、2015年10月11日に投票が実施された大統領選挙の結果を整理する。現時点で発表されている暫定的なデータによると、投票率は87.21%だった。そして、4人の候補者の得票率は、以下のとおりだった。現職のルカシェンコ以外の3人は、いずれも政権と激しく敵対するようなタイプではなく、選挙戦は盛り上がりを欠き、ほぼ無風の選挙となった。